

# Soy Japonesa

06/30/2025

渡邊結友

## 6月のひとこと

今月は、インターン・ボランティアを中心に活動しました。本格的に雨季に突入し、体調を崩すこともありましたがなんとか1か月を乗り越えました。

## 6月の目標

- 今までの経験をインターン・ボランティアに還元する
- 5月のリセオでの経験をもう一つのインターン先でも応用する

## ふりかえり

- インターン先の日本語学校では、新たに実施される会話テストの検討会に参加させていただきました。1から先生方と一緒に検討を行いました。その過程で、今までの経験や学びをもとに提案・発言することができたと思います。
- インターン先の授業で、リセオで指摘して頂いた自分のクセや良いと思った取り組み等を授業の中で取り入れることを意識しました。今までよりも授業らしい授業になったのではないかと思います。

## 誕生日を迎える

今月、メキシコで誕生日を迎えました。誕生日当日は、メキシコ人・日本人にかかわらずいろんな友人に祝ってもらえてとても嬉しかったです。ここでも文化の違いだと思ったのが、メキシコの友人たちはsnsのストーリー機能でお祝いするのに対して、日本人の友人はチャットでお祝いするという点です。日本ではそういった祝い方は高校生までという印象があったのでオープンなメキシコ人らしい祝い方だなと思いました。メキシコスタイルの誕生日会では、Happy birthday to you を歌う代わりにMañanitas という歌をみんなで歌い、ピニャータを割ります。さらに、招待客が誕生日の人の顔面をケーキに押し込むという習慣があり、これは中南米のなかでもメキシコだけなのだそうです。私は大人数のパーティがあまり好きではないのでませんでしたが、メキシコ人の友だちが誕生日のときはとても盛大なパーティが行われていました。そして言わずもがな、終盤になると皆サルサやメスカル等自由に踊りだします。笑

## 6月のハッピングBEST3

- 雨季による気圧の変化で早々に体調を崩す
- しおっちゅう雨で道路が陥没、スニーカーが毎回びしょびしょに
- 蚊にさされまくる

※メキシコの蚊は日本よりも強力なので、あまりムヒは効きません…。メキシコの薬局で買える塗り薬がおすすめです！

## メキシコでは

### 社会運動（デモ）が盛ん！

今月はLGBTQ+月間ということもあります、メキシコシティではそれに関するデモ行進やイベントが盛んに行われていました。メキシコでは、というより海外では一般的にそういうのかもしれません、労働環境改善を求めるデモ、戦争反対デモ、様々なデモが頻繁に行われています。日本ではあまり見る機会のないデモ。日本大使館から参加は推奨されていないのでメキシコ人の友人の話やSNSの投稿、テレビのニュースを見る程度ですが、とても興味深いです。

## 会話テスト実施のための検討会

先ページにも書いたように、6月はインターン先である中央学園で、会話テスト検討会に参加しました。今回、学生の「日本語を話したい・話せるようになりたい」というニーズに応え、先生方にも授業構成の際に会話活動をこれまで以上に意識してもらうために、会話テストを実施することになりました。検討会は複数回実施され、先生方や他のインターン生とともに議論を行いました。一からの検討だったので、試験内容の公平性や評価基準はもちろん、当日の試験監督の立ち回り・実施方法等も細かく・具体的に一つひとつ順を追って進めていきました。その中でも特に話し合ったのが評価基準です。評価項目・配点の兼ね合いや、この記載方法で評価基準シートを使う先生方に意図が伝わるか等、モデルではないからこそ、項目に使われる言葉尻も他の先生方から見て理解しづらくなっているかよくよく検討しました。

私にとって、実際の日本語学校でこのようにゼロから作っていく経験はとても貴重な経験になりました。大学の授業などで想定して作成するものとは異なり、実際に他の先生方や学生のことを考慮しながら会話テストを行うのはとても難しいものでしたが、何よりも面白かったです。

## 帰国前最後のボランティアに参加しました！

最終月となった今月のテーマは「感謝の気持ちを伝えよう」です。3月からはじまったプロジェクト「生命の樹」の集大成として、子どもと大人も一緒に感謝の気持ちを色画用紙に書いて発表しました。子ども大人問わず、みんなそれぞれいろんな視点で感謝の気持ちを発表していくとてもあたたかい気持ちになりました。左下の写真が、完成した生命の樹です。それぞれ実際に自分の背丈を型どって、自分の好きな色や道具を使って自由に表現しています。作っている間にも、子どもたちそれぞれの個性や性格が出ていてとても面白かったです。自分だけの生命の樹をつくりながら、子どもたち自身が自らのアイデンティティを見つめてみようという意図で企画されたプロジェクトでしたが、彼らがつくるのを手助けしたり、見守ることで改めて子どものアイデンティティの形成、さらに私自身のアイデンティティについても考えさせられる機会となりました。終わった後は、日本の学校給食スタイルでみんなでお昼ごはんを食べました。日本の子どもたちにとっては当たり前なことも、メキシコで育った子どもたちにとっては新鮮なようで、「わたしがやる！」と言って目をキラキラさせながら汁物をついだり、丁寧に運んだりする様子が印象的でした。また、「みんなで一斉に食べる」という習慣もメキシコの学校ではないため、みんな和気あいあいとおいしそうに食べていてこちらも胸がほっこりしました。改めてこういう機会が当たり前にある日本の学校給食文化は素敵だと感じました。



←完成した「生命の樹」たち  
↓みんなと食べたお昼ごはん  
(ご飯・豚汁・つけもの・ウィンナー)



# 6月のきろく



メキシコのネイルサロン  
2400円！安い！



メキシコのパリピ薬局  
ドクターシミでVRゲーム



Tamales con salsa verde  
CEPEのは本当においしい



友人の誕生日会にて  
コンソメスープ的な



毎月恒例のNoche de museo  
美術館が夜まで開館してます^^



メキシコの友だちから  
もらったタンブラー



メキシコ人の友だちと一緒に  
持ち寄りピクニック



定期的に日本食が恋しくなる…  
椀々酒場の定食はコスパ〇



インターン先の学生さんが書いてくれた似顔絵と花まるねこ